

| | | | | |
|--|----------------------|--|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 社会人基礎講座 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 濱野 茂雄 |
| 授業の概要 | | | | |
| 専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することが出来る 就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| | | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 将来の就職先及び業界について企業研究を行っておく 「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気づくこと」を習慣化する | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 動機付け 社会人基礎講座で学ぶこと | 動機付け 社会人基礎講座で学ぶことの解説 他の科目や社会に出てからの関連性の解説 | | |
| 2 | 話の聴き方 | 聞く耳を持つことが成長につながることを説明する まず、授業・学生生活で実行するよう促す | | |
| 3 | 偶然がつくる人生 | 意識の持ち方で見えるものが変わっていくことを説明する | | |
| 4 | モノの見方 | 自分のモノの見方の特徴を把握する モノの見方を広くする方法について モノの見方を広くするための行動について モノの見方の難しさを再確認する | | |
| 5 | 就職活動の世界を知る | 就職活動の心構えについて 就職活動の目的を考える 自分の何を伸ばすのかを考える 自分の中で補うポイントを把握する | | |
| 6 | 記憶をたどる | 自分が過去に経験したことを振り返る 経験から身につけた自分の強みを明確にする | | |
| 7~ 8 | 自分を知る工夫 | 自分の特徴をアウトプットする 他者取材を通して表現の幅を広げる 他者の表現から学び取る力 | | |
| 9~ 12 | 履歴書の書き方と伝え方 | 履歴書の左半分を書く上での注意点を解説する 履歴書を下書きをして清書するまでの作業を行う 志望動機以外の欄の下書きを作成する 自己紹介・趣味特技・特記事項を作成する 資格・免許・表彰を記入させる 志望動機以外の欄の清書を完成させる 志望動機の作成方法を解説する | | |
| 13 | 情報収集 | 業界研究と仕事研究 情報検索の方法 | | |
| 14 | 興味がある仕事について | 仕事内容と求める人材について調べる 自分の現状を課題と具体的行動を考える | | |
| 15 | まとめ | 今までの振り返り 履歴書の完成 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |

| | | | |
|-------------------------|----------------|----------------|--|
| 熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 就職の手引き | 課題・レポート 出席率 | 60.0% 40.0% | |
|-------------------------|----------------|----------------|--|

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|---------------|--|---------|-------|
| サービス接遇講座 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 三村 梨恵 |
| 授業の概要 | | | | |
| サービス接遇検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を身につける お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| サービス接遇検定3級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様の心理を理解することができる 他人への配慮を理解し、実践できる | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして17年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする | | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | | |
| 1 | 授業説明 | 授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法 接客を学ぶ意義 | | |
| 2 | I サービススタッフの資質 | (1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている ②適切な判断と表現ができる ③身だしなみを心得ている | | |
| 3 | I サービススタッフの資質 | (2) 従業条件 ①良識を持ち、素直な態度がとれる ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる ③清潔感について、理解できる ④忍耐力のある行動を、とることができる | | |
| 4 | I サービススタッフの資質 | 過去問題 I サービススタッフの資質 | | |
| 5 | II 専門知識 | (1) サービス知識 ①サービスの意義を、一応、理解できる ②サービスの機能を、一応、理解できる ③サービスの種類を知っている (2) 従業知識 ①商業用語、経済用語が理解できる 過去問題 | | |
| 6 | III 一般知識 | (1) 社会常識 ①社会常識が理解できる ②時事問題を、一応、理解できる 過去問題 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|---------------------------|---------|--|----------------|-----|
| 7 | IV対人技能 | (1) 人間関係 ①一般的に、人間関係が理解できる (2) 接遇知識 ①対人心理が理解できる ②一般的なマナーを心得ている ③接遇者としてのマナーを心得ている | | |
| 8 | IV対人技能 | (3) 話し方 ①接遇用語を知っている ②接遇者としての基本的な話し方が理解できる ③提示、説明の仕方が理解できる | | |
| 9 | IV対人技能 | (4) 服装 ①接遇者としての適切な服装が理解できる 過去問題（選択問題・記述問題） | | |
| 10 | V実務技能 | (1) 問題処理 ①問題処理について、理解できる (2) 環境整備 ①環境整備について、理解できる | | |
| 11 | V実務技能 | (3) 金品管理 ①金品の管理について、理解できる (4) 社交業務 ①社交儀礼について、理解できる | | |
| 12 | V実務技能 | 過去問題（選択問題・記述問題） | | |
| 13 | 過去問題 | I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能 | | |
| 14 | 期末テスト | I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能 | | |
| 15 | 期末テスト解説 | I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| サービス接遇検定3級公式テキスト タブレット | | 期末試験 課題・レポート | 90.0% 10.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|---------------|--|---------|-------|
| サービス接遇講座Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 三村 梨恵 |
| 授業の概要 | | | | |
| サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| サービス接遇検定2級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様心理を理解し、それに合った対応をすることができる 他人への配慮を理解し、実践できる | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして17年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする | | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | | |
| 1 | I サービススタッフの資質 | (1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている。 ②適切な判断と表現ができる。 ③身だしなみを心得ている。 | | |
| 2 | I サービススタッフの資質 | (2) 従業要件 ①良識を持ち、素直な態度が取れる。 ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる。 ③清潔感について、理解できる。 ④忍耐力のある行動を、取ることができる。 | | |
| 3 | I サービススタッフの資質 | 過去問題 | | |
| 4 | II 専門知識 | (1) サービス知識 ①サービ意義を理解できる。 ②サービスの機能を理解できる。 ③サービスの種類を理解できる。 | | |
| 5 | II 専門知識 | (2) 従業知識 ①商業活動、経済活動が理解できる。 ②商業用語、経済用語が理解できる。 過去問題 | | |
| 6 | III 一般知識 | (1) 社会常識 ①社会常識がある ②時事問題を理解している 過去問題 | | |

| 回 | テーマ | 内 容 | | |
|---------------------------|---------|---|----------------|----------------------|
| 7 | IV対人技能 | (1) 人間関係 ①人間関係の対処について、理解がある (2) 接客知識 ①顧客心理を理解し、能力を発揮することができる ②一般的なマナーを発揮できる ③接客者としてのマナーを発揮することができる | | |
| 8 | IV対人技能 | (3) 話し方 ①接客用語を知っている ②接客者としての話し方ができる ③提示、説明ができる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装ができる | | |
| 9 | IV対人技能 | 過去問題（選択問題・記述問題） | | |
| 10 | V実務技能 | (1) 問題処理 ①問題処理について、対処できる (2) 環境整備 ①環境整備について、対処できる | | |
| 11 | V実務技能 | (3) 金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる | | |
| 12 | V実務技能 | (4) 金品輸送 ①送金、運搬について、理解できる | | |
| 13 | V実務技能 | (5) 社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある | | |
| 14 | 期末テスト | I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能 | | |
| 15 | 期末テスト解説 | I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| サービス接客検定2級公式テキスト タブレット | | 期末試験 課題・レポート | 90.0% 10.0% | 検定結果を期末の 代わりにします。 |

| | | | | |
|---|-----------------------|--|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 犬種標準学 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 吉本 真紀 |
| 授業の概要 | | | | |
| 講義 | | | | |
| 日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 犬の種類や特徴を知り訓練や販売や看護の仕事で役にたつようにする 犬の生態を知ることによって扱いに気を配ることができる | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | トリマー、ブリーダー、ハンドラーとして27年 常にお客様から受ける相談をもとに授業をすすめる。 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| グルーミング実習時に担当した犬種をよく観察すること | | | | |
| 準備学習 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | なぜ犬の種類ができたのか | 犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する | | |
| 2 | 犬の体を知ろう | 犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明 | | |
| 3 | 第1グループ犬種説明と各犬種の説明 | 第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー | | |
| 4 | 第1グループ犬種説明と各犬種の説明 | ウエルシュ・コーギーペンブローク ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明 | | |
| 5 | 第1グループ犬種説明と各犬種の説明 | ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説 | | |
| 6 | 第1グループ犬種説明と各犬種の説明 | ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に關しての歴史の説明 | | |
| 7 | 第2グループ犬種説明と各犬種の説明 | 大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説 | | |
| 8 | 第3グループ犬種説明と各犬種の説明 | テリアの特徴の説明と ジャックラッセルの説明 | | |
| 9 | 第3グループ犬種説明と各犬種の説明 | ウエストハイランドホワイトテリア スコティッシュテリア 短脚テリアのまとめ | | |
| 10 | 第3グループ犬種の説明 各犬種の説明 | 長脚テリアの特徴の説明 種類の解説 管理方法 | | |
| 11 | 第3グループ犬種の説明 各犬種の説明 | ヨークシャテリアの説明 それに影響された犬種の説明 | | |
| 12 | 第3グループ犬種の説明 各犬種の説明 | ワイヤーフォックステリア説明 | | |
| 13 | 小テスト | 期末試験までの準備のため | | |
| 14 | 期末試験のためのおさらい | | | |
| 15 | 期末試験 | | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |

| 回 | テ | ー | マ | 内 | 容 |
|--------|---|---|---|------|-------|
| 最新犬種図鑑 | | | | 期末試験 | 90.0% |
| | | | | 出席率 | 10.0% |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--------------------------------------|--------------------|--|---------|-------|
| 犬種標準学Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 吉本 真紀 |
| 授業の概要 | | | | |
| 講義 犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 犬の特徴を知りお客様の相談に対応できるようになる | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | トリマー、ハンドラー、ブリーダー歴27年の経験から日頃お客様と対応する内容をもとにアドバイスができる | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 実習関連時に犬をよく観察すること | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 第4グループ犬種説明 | ダックスフンドの特徴と沿革の説明 | | |
| 2 | 第5グループ犬種説明と各犬種の解説 | シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い | | |
| 3 | 第5グループ犬種説明と各犬種の解説 | ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明 | | |
| 4 | 第5グループ犬種説明と各犬種の解説 | 日本犬の特徴と説明 | | |
| 5 | 第6グループ犬種説明と各犬種の解説 | ビーグルなどの説明 | | |
| 6 | 第6グループ犬種説明と各犬種の解説 | ダルメシアンの特徴 | | |
| 7 | 第7グループ犬種説明と各犬種の説明 | セターとワイマラナーの説明 | | |
| 8 | 第8グループ犬種説明と各犬種の説明 | アメリカン・コッカーの説明 | | |
| 9 | 第8グループ犬種説明と各犬種の説明 | スパニエル系のまとめ | | |
| 10 | 第8グループ犬種説明と各犬種の説明 | レトリバー系のまとめ | | |
| 11 | 第9グループ犬種説明と各犬種の説明 | プードルの説明 | | |
| 12 | 第9グループ犬種説明と各犬種の説明 | チワワキャバリアなどの説明 | | |
| 13 | 小テスト | 期末試験の準備 | | |
| 14 | 第10グループ犬種説明と各犬種の説明 | サイトハウンドの特徴 | | |
| 15 | 期末試験 | | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | |
|--------|-------|-------------|---|
| 最新犬種図鑑 | | 期末試験 出席率 | 90.0% 10.0% 準備学習 次にする犬種をイ メージするために 本を読んでおく |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|-----------------------------|--|--|----------------|------------------------------------|
| グルーミング実習BASIC I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 10回 | 0単位(20時間) | 必須 | 森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は |
| 授業の概要 | | | | |
| グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 正しい作業方法を覚える | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | 森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~2 | 導入 | 実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明 | | |
| 3~10 | 基礎 | シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| ドッググルーミングマニュアル | | 出席率 実習・実技評価 | 10.0% 90.0% | 【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|--|---------------------------------|----------------|------------------------------------|
| グルーミング実習BASIC II | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は |
| 授業の概要 | | | | |
| グルーミング作業(ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り)をできるようになる | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 1人でグルーミング作業をできるようになる | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | 森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~15 | 基礎の復習 | グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 最新ドッググルーミングマニュアル | | 出席率 実習・実技評価 | 10.0% 90.0% | 【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|------------|---------------------------|----------------|-------|
| 生命倫理・動物福祉 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 長尾 美花 |
| 授業の概要 | | | | |
| 生命倫理の考え方および動物愛護・動物福祉について学ぶ | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <p>言葉をもたない動物を扱うにあたり倫理観を書くことはできないため、動物愛護と動物福祉の違いを説明できるようになる。</p> <p>そして、資格が出来るに至る歴史やプロセスを理解し、自己研鑽を欠かしてはならないことを理解し愛玩動物看護師として人と動物の関係に上手に介入できる知識を習得する。</p> <p>人と動物の共生社会をリードする存在になる。</p> | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物病院において22年間動物看護師として勤務 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 授業ガイダンス | 授業ガイダンス | | |
| 2 | 生命倫理の概念 | 倫理とは何か、生命倫理と獣医療の関わりについて学ぶ | | |
| 3~4 | 動物福祉の概念 | 動物福祉の考え方について理解する | | |
| 5~6 | 愛玩動物の福祉 | 愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題について理解する | | |
| 7~8 | 産業動物の福祉 | 産業動物における福祉上の問題について理解する | | |
| 9~10 | 実験動物の福祉 | 実験動物における福祉上の問題について理解する | | |
| 11~12 | 展示動物の福祉 | 展示動物における福祉上の問題について理解する | | |
| 13~14 | 愛玩動物看護師の倫理 | 動物看護師倫理綱領について理解する | | |
| 15 | 期末テスト | 期末テスト | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 (Eduward Press) | | 期末試験 課題・レポート | 80.0% 20.0% | |

| | | | | |
|---|-----------------|---|---------|------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 動物形態機能学 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 30回 | 4単位(60時間) | 必須 | 荒岡 杉 |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。 3億6000万年前に誕生した脊椎動物は種々の進化を経て現在に至っている。哺乳類がとげた進化の中で恒常性の維持(ホメオスタシス)に関わる形態、機能こそ生命を維持する基礎となっている。それらを学習することによって正常な形態、機能を理解し、そこから病態における有効な看護を考える。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <p>細胞の基本構造について説明できる。 循環器系について説明ができる。 呼吸器系について説明ができる。 消化器系について説明ができる。 泌尿器系について説明ができる。</p> | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物病院における獣医師としての診療 37年 動物系専門学校における動物看護系教員 14年 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 動物体の構造と機能を学ぶために | 動物体の形態、構造、機能について、何を学ぶか 動物形態機能学概論 | | |
| 2 | 体のつくりと働き | 動物の分類、身体の位置を示す用語、身体の基本構造、細胞～動物体へ | | |
| 3 | 生命のすがた① | 体を作る構造 細胞 多くの細胞からなる組織 | | |
| 4 | 生命のすがた② | 細胞分裂と増殖 | | |
| 5～6 | 生命のすがた③ | 細胞内液、細胞外液、電解質 | | |
| 7～12 | 栄養の消化と吸収 | 口・咽頭・食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能 膵臓・肝臓・胆のうの構造と機能 | | |
| 13～18 | 呼吸と血液のはたらき | 呼吸器の構造 呼吸 血液 | | |
| 19～24 | 血液の循環とその調節 | 循環器の構成 心臓の構造 心臓の拍出機能 末梢循環系の構造 血液循環の調節 リンパとリンパ管 | | |
| 25～29 | 体液の調節と尿の生成 | 腎臓 排尿路 体液の調節 | | |
| 30 | 期末試験 | 期末試験 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能」(ファームプレス) 専門基礎分野「動物形態機能学」(インターズー) | | 期末試験 | 100.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|-----------|---|----------------|------|
| 動物形態機能学Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 30回 | 4単位(60時間) | 必須 | 荒岡 杉 |
| 授業の概要 | | | | |
| 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 内分泌系について説明ができる。 自律神経系について説明ができる。 生殖器系について説明ができる。 骨格系・筋系について説明できる。 外部環境からの防御について説明できる。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物病院における獣医師としての診療 37年 動物系専門学校における動物看護系教員 14年 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~8 | 内臓機能の調節 | 自律神経による調節 内分泌系による調節 全身の内分泌腺と内分泌細胞 ホルモン分泌の調節 ホルモンによる調節の実際 | | |
| 9~15 | 身体の支持と運動 | 骨格とはどのようなものか 骨の連結 骨格筋 体幹の骨格と筋 前肢の骨格と筋 後肢の骨格と筋 頭頸部の骨格と筋 筋の収縮 | | |
| 16~23 | 情報の受容と処理 | 神経系の構造と機能 脊髄と脳 脊髄神経と脳神経 脳の高次機能 運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路 眼の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡感覚 味覚と嗅覚 | | |
| 24~29 | 外部環境からの防御 | 皮膚の構造と機能 生体の防御機構 体温とその調節 | | |
| 30 | 期末試験 | 期末試験 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物看護コアテキスト2「動物の「からだの構造と機能」(ファームプレス) 専門基礎分野「動物形態機能学」(インターズー) | | 期末試験 出席率 | 100.0% 0.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|----------------------------|-------------|--|----------------|------|
| 動物行動学 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 村尾 智 |
| 授業の概要 | | | | |
| 動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。 | | | | |
| 動物と人間がいかに共存できるか学習する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 動物の行動習性について正しい知識を学ぶことができる。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~ 2 | 生得的行動・習得的行動 | 遺伝・行動・学習ができる | | |
| 3~ 4 | パブロフの犬 | 条件付け・古典的条件付け・条件反射・無条件反射ができる | | |
| 5~ 6 | オペラント条件付け | イルカトレーニング・クリックートレーニングができる | | |
| 7~ 9 | 犬の五感 | 臭覚・視覚・聴覚・触覚・味覚を知る | | |
| 10~ 12 | ホルモンと行動 | 去勢・避妊を知る | | |
| 13~ 15 | 愛護 | パピーミル・殺処分・子犬の流通システムを知る | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | | 期末試験 出席率 | 90.0% 10.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|------------------------------|-----------------------------|---------|-------|
| 動物看護関連法規 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 8回 | 1単位(15時間) | 必須 | 長尾 美花 |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護師の倫理綱領2009」と「動物看護師の業務指針」(2012)についても学ぶ。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <p>獣医療に関わる法律について理解し、動物と人が共存する社会の安全を守るために貢献する動物看護師になる。</p> | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物看護師として22年間、動物病院で勤務 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 法規の概念 | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 2 | 動物看護師を取り巻く獣医療関連法規のアウトラインについて | 動物看護師を取り巻く法律の概要を知る | | |
| 3 | 動物看護師の職域に関連する法規① | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 4 | 動物看護師の職域に関連する法規② | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 5 | 動物愛護及び管理に関する法律① | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 6 | 動物愛護及び管理に関する法律② | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 7 | 身体障害者補助犬法 | 法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける | | |
| 8 | まとめ | まとめ | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5 (EDUWARD Press) | | 期末試験 | 100.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---------------------------------|------------------|----------------------|---------|-------|
| 動物愛護・適正飼養関連法規 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 8回 | 1単位(15時間) | 必須 | 長尾 美花 |
| 授業の概要 | | | | |
| 愛護・適正飼養関連法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 愛護・適正飼養関連法規と動物看護師の関わりについて説明できる。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物看護師として22年間、動物病院に勤務 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | | |
| 1~2 | 愛護・適正飼養の基本となる概念 | 愛護・適正飼養に関連する法規 | | |
| 3~4 | 野生動物等に関する法律および条約 | 野生動物等に関する法律および条約の概要 | | |
| 5~6 | 社会福祉行政・環境衛生法規 | 社会福祉行政・環境衛生法規の概要 | | |
| 7 | まとめ | まとめ | | |
| 8 | 期末試験 | | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5 | | 期末試験 | 100.0% | |

| | | | | |
|--|----------|---|----------------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 動物看護学概論 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 長尾 美花 |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>小動物診療は、ますます高度化し動物病院においては獣医師の他に、種々の動物医療関連業務に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会的債務を理解した動物看護師として獣医師の補助的サポートだけではなく、専門職としての職業意識を形成する。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <p>動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。</p> | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物看護師として、22年間動物病院で勤務 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~2 | 動物看護学概論① | 動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を学ぶ | | |
| 3~4 | 動物看護学概論② | 動物看護学を学ぶ上で、業務を考える | | |
| 5~6 | 動物看護学概論③ | 動物看護師の倫理について考える | | |
| 7~8 | 動物看護学概論④ | 動物看護学が必要な場面とはどんな場面なのか。そして動物看護師が活躍できるのはどんな時なのかを学ぶ。 | | |
| 9~10 | 動物看護学概論? | 動物看護を実行するうえで必要な動物看護師の視点について学べる。 | | |
| 11~12 | 動物看護学概論? | 診療場面での動物看護師の役割について知る | | |
| 13~14 | 動物看護学概論⑦ | 獣医療の歴史、動物看護と国家資格化の軌跡を知る | | |
| 15 | 期末テスト | 期末テスト | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻(エデュワードプレス) | | 期末試験 課題・レポート | 80.0% 20.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|-----------------------|--|---------|--------|
| 動物感染症学 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 鈴木 ひとみ |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 授業概要に記載。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 獣医師としての10年の実務経験 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 感染・感染症とは | 感染、発症、感染症の定義が言えるようになる。また、感染症の経過を理解する | | |
| 2 | 感染症の種類 | 感染症の種類について学習し、それぞれの意味を答えられるようになる | | |
| 3 | 感染が成り立つには | 感染が成立するために必要な3つの要因が言えるようになる。それに加えて、感染が成立するか否かを決める3つの力関係についても学習する | | |
| 4 | 微生物学 | 微生物の定義、その対象、性状の違いを知る 病原微生物とは何かが説明できるようになる | | |
| 5 | 微生物学 細菌 | 細菌の性状を知る 細菌の構造を知る | | |
| 6 | 微生物学 細菌 | 細菌を観察する際に行う染色について学ぶ 細菌の発育や増殖に必要な栄養素と、増殖に関わる因子を知る | | |
| 7 | 微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症 | イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ | | |
| 8 | 微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症 | イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ | | |
| 9 | 微生物学 真菌 | 真菌とは何か、その形態と増殖様式を知る 主な病原性真菌と検査法について学ぶ | | |
| 10 | 微生物学 イヌ、ネコの主な真菌感染症 | イヌ、ネコの主な真菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ | | |
| 11 | 微生物学 原虫 | 原虫とは何かを知り、その分類と増殖様式、検査法を学ぶ | | |
| 12 | 微生物学 イヌ、ネコの主な原虫感染症 | イヌ、ネコの主な原虫感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ | | |
| 13 | 微生物学 ウイルス | ウイルスとは何か、その性状と分類について学ぶ ウイルスの増殖と、感染の経過について学ぶ | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----|----------------------|-----------------------------------|----------------|-----|
| 14 | 微生物学 イヌの主なウイルス感染症 | イヌの主なウイルス感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ | | |
| 15 | 期末試験 | 期末試験の実施 | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 動物看護の教科書第3巻（緑書房） | 期末試験 確認テスト | 90.0% 10.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|----------|----------------------------|---------|--------|
| 動物感染症学Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 鈴木 ひとみ |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <p>感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。</p> | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 獣医師としての10年の実務経験 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 試験見直しと復習 | 感染症学Ⅰの試験の見直しと感染症学Ⅰの内容を復習する | | |
| 2 | 復習 | 感染症学Ⅰの内容を復習する | | |
| 3 | 感染症⑪ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 4 | 感染症⑫ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 5 | 感染症⑬ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 6 | 感染症⑭ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 7 | 感染症⑮ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 8 | 感染症⑯ | 動物に関連する感染症について学ぶ | | |
| 9 | 中間まとめ① | ここまで学んだ内容について復習する | | |
| 10 | 中間まとめ② | ここまで学んだ内容について復習する | | |
| 11 | ワクチン① | ワクチンの仕組みについて学習する | | |
| 12 | ワクチン② | ワクチンの仕組みについて学習する | | |
| 13 | ワクチン③ | ワクチンの種類、内容について学習する | | |
| 14 | 最終まとめ | 感染症学Ⅱで学んだことを復習する | | |
| 15 | 期末試験 | 期末試験の実施 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |

| 回 | テーマ | 内容 | |
|-----------------------|-----|---------------|---|
| 動物看護コアテキスト3巻（ファームプレス） | | 期末試験 確認テスト | 90.0% 10.0% 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する マンガ「はたらくさいぼう」を読む |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|------------|--|---------|-------|
| 動物臨床看護学総論 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 長尾 美花 |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として、重要な役割を果たすようになってきている。そのためには獣医師の職域とは異なる動物看護師の視点で動物を見られるようになることが必要である。「動物臨床看護学総論」では、動物看護学各論で学んだ概要を再度復習し、動物看護師の役割、目的などを振り返る。動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識が必要であることは言うまでもない。人の言葉を話せず、習性や生態もちがう動物の心理的な状態を予測すること、看護動物を取り巻く社会的な影響として環境や飼い主家族の特徴をとらえることは、家庭でのお世話を継続して貰うために非常に大切である。チーム獣医療の中で動物看護師がどのような視点で看護を行うべきか症状別の看護のポイントを学ぶ。</p> <p>【実務経験】相澤梨子：動物看護師として4年半の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 授業概要に記載 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物看護師として、22年間動物病院で勤務 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 動物看護学概論 | 臨床動物看護学の開始前に1年次の復習として動物看護について学び直す | | |
| 2 | 動物看護学概論2 | 動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる | | |
| 3 | 動物看護学概論3 | 動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる | | |
| 4 | 動物看護者の倫理綱領 | 「動物看護者の倫理綱領2009」について学ぶ | | |
| 5 | 動物看護技術の基盤 | 動物看護を遂行する動物看護者に必要な技術について | | |
| 6 | 動物看護技術の基盤2 | 動物看護を遂行する動物看護者に必要な技術について | | |
| 7 | 動物看護技術の基盤3 | 動物看護を遂行する動物看護者に必要な技術について | | |
| 8 | 症状別の動物看護 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 9 | 症状別の動物看護2 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 10 | 症状別の動物看護3 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 11 | 症状別の動物看護4 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |

| 回 | テーマ | 内 容 | | |
|---------------|------------|--|--------|------------------------------|
| 12 | 症状別の動物看護 5 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 13 | 症状別の動物看護 6 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 14 | 症状別の動物看護 7 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 15 | 症状別の動物看護 8 | 臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物看護の教科書（緑書房） | | 期末試験 | 100.0% | 【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|----------------|---|---------|--------|
| 愛玩動物学 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 吉本 由紀子 |
| 授業の概要 | | | | |
| 愛玩動物看護師は様々な動物の看護に携わる可能性があり、また、その飼い主へ飼養管理指導をする場面も想定される。愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育方法について理解する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 愛玩動物の特性を学びそれぞれの動物の看護を適切に実践することができる、また、飼い主へ適切な飼養管理をアドバイスできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・犬の歴史と代表的な品種、その活用や品種に適したグルーミングを理解し、説明することができる。 ・猫の歴史と代表的な品種、その活用や品種に適したグルーミングを理解し、説明することができる。 ・愛玩鳥、ウサギの特性や飼養管理を理解し、説明することができる。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物病院における獣医師としての診療経験 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練経験 7年 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 各項目についての復習 各章ごとに実施される課題の提出または確認テストのための学修 | | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | | |
| 1~5 | 犬の歴史・品種・飼養管理 | 1) 歴史 2) 現在の飼養状況 3) 犬の活用 4) 代表的な品種の特徴 5) 飼養管理 6) 品種に適したグルーミング | | |
| 6~8 | 猫の歴史・品種・飼養管理 | 1) 歴史 2) 現在の飼養状況 3) 猫の活用 4) 特徴 5) ライフサイクル 6) 代表的な品種の特徴 7) 飼養管理 8) 品種に適したグルーミング | | |
| 9 | 血統と血統書 | 1) 血統書の意義 2) 血統書の読み取り方 3) 血統管理と品種改良 | | |
| 10~12 | 愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理 | 1) 歴史 2) 現在の飼養状況 3) 代表的な品種の特徴 4) 飼養管理 | | |
| 13~14 | ウサギの特徴・生態・飼養管理 | 1) 背景 2) 飼養管理 | | |
| 15 | 期末試験 | 期末試験実施 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻(エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書6(緑書房) 愛玩動物看護師必携テキスト(学研) イラストでみる猫学(講談社) | | 期末試験 | 100.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|---------------|---|----------------|--------|
| 愛玩動物学Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 吉本 由紀子 |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>人間の伴侶となり、共に暮らす動物について知識を深め、専門職として活躍できる能力を身に付ける。日頃な健康管理について、動物看護師として飼い主に飼育指導できる人材となることを目指す。近年の伴侶動物の種類多様化に伴い、小動物臨床現場で遭遇する動物種も増加傾向にあり、それぞれの看護対象を正しく理解し扱える動物看護師の需要は高まっている。イヌやネコのみならず、すべての動物に関して自らが継続して学習する姿勢を取り、さまざまな分野に対して興味を示し自主的に行動を起こせる人材となり、動物看護師に対する社会のニーズに対応することを目指す。本学科においてイヌ・ネコ・ウサギ・フェレット・ハムスター・モルモット・チンチラ・フクロモモンガ・テグー・ハリネズミについて学習する。</p> | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・鳥類の生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。 ・爬虫類の生態を理解し、適切な飼育管理法を飼い主にアドバイスできるようになる。 ・エキゾチックアニマルに属するそれぞれの動物の雌雄生殖器の構造と機能、性行動及び発情、交尾、妊娠、分娩の過程を学び、飼い主に適切なアドバイスができるようになる。 | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 獣医師として動物病院で診療に従事 37年間 動物系専門学校で動物看護系教員として 14年 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 各項目についての復習 学外において伴侶動物学で学習した動物と遭遇した場合は、観察を怠らず学習内容と照らし合わせてみる。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1～6 | 鳥類 | 鳥類の生態、習性、種類 鳥類の飼育方法、看護方法 | | |
| 7～11 | 爬虫類 | 爬虫類の生態、習性、種類 爬虫類の飼育方法、看護方法 | | |
| 12～13 | エキゾチックアニマルの繁殖 | イヌ・ネコ以外の伴侶動物の繁殖について学習し、しれ耳れの動物の繁殖を考慮した飼育方法、看護方法を習得する。 | | |
| 14 | 確認とまとめ | | | |
| 15 | 期末試験 | 期末試験 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物看護コアテキスト4(ファームプレス) 応用動物看護学3(インターズー) 動物看護の教科書4 応用動物看護学(緑書房) | | 期末試験 出席率 | 100.0% 0.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|----------------------|---|----------------|------------------------------|
| 動物形態機能学実習 | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 齋藤小, 長尾 |
| 授業の概要 | | | | |
| 講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につける。また、手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 修得した知識の実践力を身に付ける | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | 動物看護師として7年、動物病院に勤務 | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 動物看護のための準備と心構え | 臨床現場における動物看護のための準備・心構えについて学ぶ | | |
| 2 | 診療補助(概論) | 犬猫の扱いを知り、基本的な保定法と身体検査について学ぶ | | |
| 3~5 | 診療補助①(犬猫の保定法) | 犬猫の基本的な保定法の違いを知り、処置と個体に合った保定法を修得する | | |
| 6~7 | 診療補助②(バイタルチェック・身体検査) | バイタルチェック・身体検査の方法を修得する。 | | |
| 8~9 | 診療補助③(生体の正常・異常) | 生体の正常値と異常値、カルテの記入の仕方を学ぶ | | |
| 10 | シリンジと注射器の扱い(概論) | <ul style="list-style-type: none"> シリンジ、注射針の構造、種類について学ぶ 注射の目的と違いを理解する | | |
| 11~12 | シリンジと注射針の扱い①(無菌的操作) | <ul style="list-style-type: none"> シリンジ、注射針の無菌的操作の手順を修得する バイアルとアンプルについて学ぶ | | |
| 13~14 | シリンジと注射針の扱い②(薬剤の準備) | <ul style="list-style-type: none"> 各注射法の目的と方法を学ぶ 薬剤の準備を練習する | | |
| 15 | 期末試験 | 期末試験の実施 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物看護実習テキスト(インターズー) | | 期末試験 実習・実技評価 | 80.0% 20.0% | 【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|-------------------------------------|---------------------|-------------------------|----------------|---------|
| 動物内科看護学実習 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 30回 | 2単位(60時間) | 必須 | 齋藤小, 長尾 |
| 授業の概要 | | | | |
| 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 授業概要に記載 | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | 動物看護師として、動物病院に7年間勤務 | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~6 | 身体検査① | 全身状態の評価法を学ぶ | | |
| 7~12 | 身体検査② | バイタルサインの評価法を学ぶ | | |
| 13~15 | 診察補助① | 診察の準備や診察の衛生管理を学ぶ | | |
| 16~18 | 診察補助② | 基本的な保定法を学ぶ | | |
| 19~21 | 診察補助③ | 聴診器、体温計、注射器の適切な取り扱い方を学ぶ | | |
| 22~25 | 診察補助④ | 採血・採尿の手順を学ぶ | | |
| 26~27 | 診察補助⑤ | 薬剤の取り扱い方を学ぶ | | |
| 28 | 総復習① | これまでのまとめを行う | | |
| 29 | 期末試験 | 期末試験の実施 | | |
| 30 | 総復習② | 期末試験の振り返り | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 動物内科看護学(エデュワードプレス) 動物看護実習テキスト | | 期末試験 実習・実技評価 | 80.0% 20.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|-------------------------------|--|----------------|----------------|---------|
| 動物愛護・適正飼養実習 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/前期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 村尾智, 藤原 |
| 授業の概要 | | | | |
| 犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 訓練基礎を習得することが出来る(待て、おすわり) | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 【準備学習】テキストを読んで予習をしておく | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~14 | 基本学習 | おやつ・言葉のタイミング | | |
| 15 | 期末試験(実技試験) | 期末試験(実技試験)の実施 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| JKC訓練基本マニュアル | | 実習・実技評価 出席率 | 90.0% 10.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--------------------------------|--|---------------------|----------------|---------|
| 動物愛護・適正飼養実習Ⅱ | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 村尾智, 藤原 |
| 授業の概要 | | | | |
| 犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 基礎訓練を習得する(脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼) | | | | |
| 実務経験有無 | 実務経験内容 | | | |
| 有 | トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること | | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| 【準備学習】テキストを読んで予習をしておく | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~ 15 | 行動学習 | 脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| JKC訓練基本マニュアル | | 期末試験 出席率 | 90.0% 10.0% | |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|-------|--|---------|---|
| 動物看護総合実習 I | | 動物看護総合学科/1年 | 2024/後期 | 実習 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 90分 | 30回 | 2単位(60時間) | 必須 | 吉本 由紀子 |
| 授業の概要 | | | | |
| 動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解する 動物病院内で動物看護師の実際の業務や獣医師、動物看護師との連携を理解する 学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ること、必要性や目的を理解し、意欲の向上を図る | | | | |
| 実務経験有無 | | 実務経験内容 | | |
| 有 | | 動物病院における獣医師としての診療経験 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練経験 7年 | | |
| 時間外に必要な学修 | | | | |
| | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1~5 | 理解型実習 | オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する | | |
| 6~10 | 理解型実習 | 獣医師・動物看護師の業務内容(役割の違い、一日の流れなど)を把握する | | |
| 11~15 | 理解型実習 | 動物病院の施設を見学し、施設の概要や機能を理解する | | |
| 16~20 | 理解型実習 | 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する | | |
| 21~25 | 理解型実習 | 学習者として適切に行動できるよう、社会常識やマナーを実践する | | |
| 26~30 | 理解型実習 | 学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を知り、必要性を理解する | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | | 実習・実技評価 | 100.0% | <ul style="list-style-type: none"> 「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する 【衛生・健康管理】(優)8点(良)7点(可)6点(不可)5点 【接遇マナー、勤務状態】(優)6点(良)5点(可)4点(不可)3点 ・合計で100点満点とする |